

こちら

悩み即解!

Excel相談室

第6回

個人にもチームにも役立つ 業務プログラムの作りかた伝授

牧村 あきこ

MAKIMURA, Akiko

Office Makimura

<http://www.makim.net/>

予定表入力ツールを作る

Excelを予定表として使う場合、1枚のシートに週単位の予定を書き込むというのがもっとも多く利用されているパターンではないでしょうか。この週単位の予定表に分単位の細かな予定を書き込む場合、直接セルに入力するのが一般的です。しかし、入力項目がある程度定番化しているときには、専用の表に予定を書き込み、一括して予定表に反映させるほうが便利です。

Level

1

2

3

4

5

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- ASP.NET

Other:

Excel 2000/2002/2003

Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoeisha.com/mag/windev/>からダウンロード可能です。

今月の悩み

フィットネスクラブの運営に携わる 坂本さんの場合

私はフィットネスクラブの運営全般に関わる業務を担当し、その内容は会員拡充のための営業からイベントの企画、レッスンスケジュールの作成など多岐にわたっています。

細かな作業をひとりでこなしているため、定期的に発生するルーチンワークにはできるだけ手間をかけたくありません。特に面倒に感じるのが、定期的に作成している会員向けのレッスン週間予定表です。いつも予定表に見立てたセルに直接レッスン内容を書き込んでいるのですが、レッスン内容に大幅な変更があると面倒ですし、内容のチェックにも神経を使います。この作業がもう少し簡単にできるとラクなのですが……。

問題の解決方法

最初に、坂本さんがルーチンワークとして作成している週間予定表のイメージを確認しましょう(図1)。このような類の予定表は、フィットネスクラブに限らず、その他の業種でもよく利用されています。

このような予定表では、直接データを書き込むほうが、全体のバランスの見通しがつけやすいなどのメ

リットがありますが、ある程度、予定項目が固まっている場合は、必要な情報を専用の表に入力し、専用の表からプログラム処理で予定表を作るほうが、データが入力しやすく、作業効率が高くなります。

そこで、予定表のテンプレートとなる「master」シートと、予定を入力する専用の表を配置した「input」シートを用意し、次の2種類の処理を行なえるプログラムを作成することにしました(図2)。

図1：週間レッスン予定表のイメージ

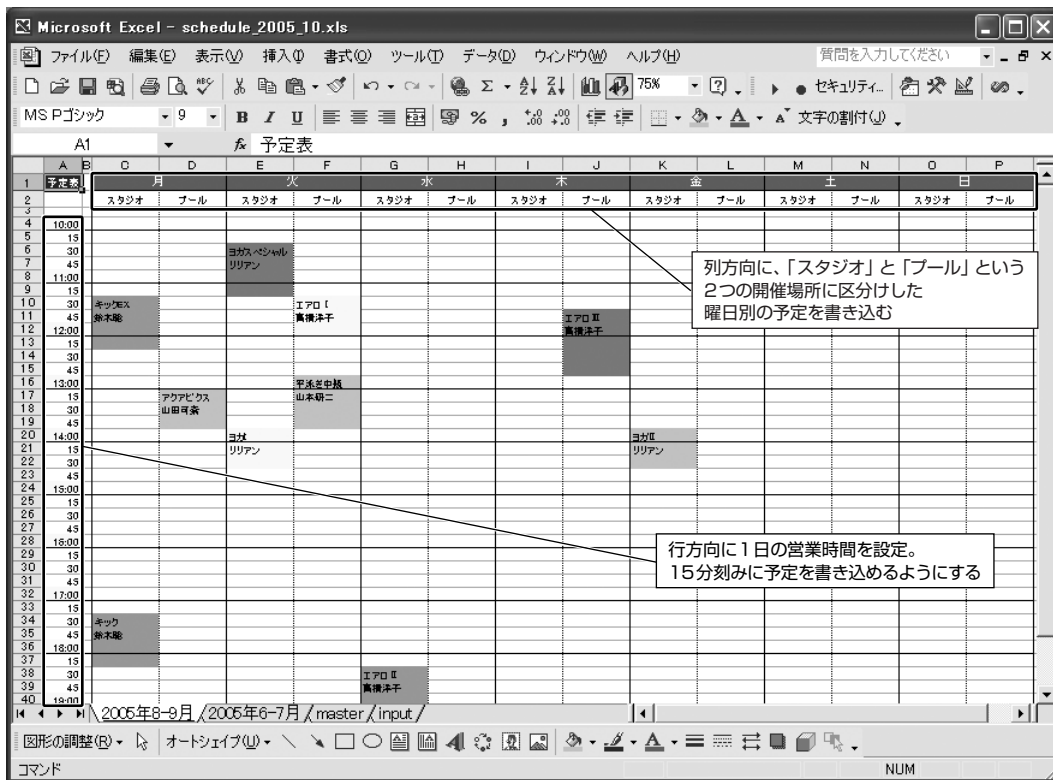
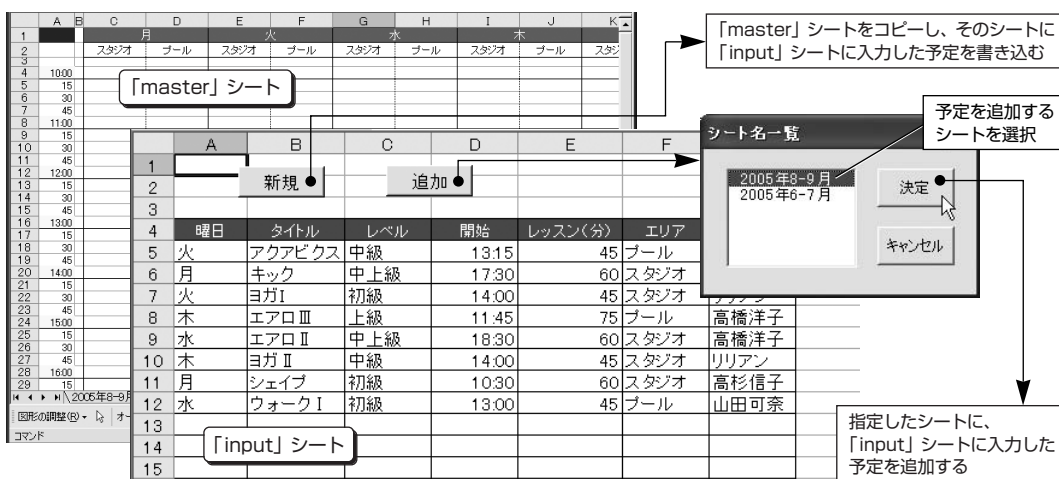


図2：予定表作成プログラムの概要



手順1 新規に予定表を作る

「master」シートをテンプレートとして新しい予定表を作成する

手順2 既存の予定表に追加する

編集するシートを指定した上で、予定を追加する

また、予定を入力する「input」シートの表には、できるだけ簡単に入力できるように、Excelの入力規則を設定してあります。実際の操作感は、後に紹介するサンプルで確認してください。